

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2013年5月20日

報告書名：平成23年度 ジャパン・プラットフォーム 事業終了報告書

平成23年度 ジャパン・プラットフォーム 事業終了報告書

2013年5月20日

事業名	初等教育改善事業	
事業対象地	アフガニスタン国 ナンガハル県	
事業期間	事業期間：2012年1月1日～2013年月4月15日	
公的資金種別	ジャパン・プラットフォーム アフガニスタン・パキスタン人道支援複数年事業 F2	
総支出・返還金	総支出：105,641,724円（返還額：20,693,346円）	
プロジェクト目標および、その達成度	本事業の目的は、対象地域の「児童の学習環境を改善する」ことである。①校舎建設・備品供与活動、②図書室改善活動、③子どもの学校外教育活動の3つの要素で構成し、ハード要素とソフト要素の相乗効果によって、児童の学習環境を改善する。学校建設と図書室改善活動の両活動を実施した2校では、就学者数が事業前の4164名から4498名へと334名、8%増加した。児童が図書室を週に1度多く利用すると児童の終了試験の偏差値が1点上がり、図書を週に1冊多く借りると、偏差値が1.3点上がるのが1%の有意水準で証明された。したがって、本事業は児童の学習環境を改善したと言える。	
実施内容 概要	(1) 校舎建設活動 校舎建設・備品供与活動については、2校で32教室が建設され、57クラスの3000名が野外授業から解放され、教室で学習できるようになった。	受益者数 カブール州の2校の児童4498名、教員97名。
	(2) 図書室改善活動 3校に図書室が設置された。教員研修を34校で、図書館員研修を26校で実施した。教員研修を終了した37校で図書活動が実施されている。事業終了時の2012年の1か月あたりの小学生児童の図書貸出数が平均で203冊（児童一人あたり0.2冊）、図書室利用者数が平均で658名（児童一人あたり0.7回）であった。5つの公共図書館については、蔵書数が平均2694冊となった。2012年の1か月あたりの小学生児童の図書貸出数平均が47冊、図書室利用者数が324名であった。	ナンガハル州およびカブール州の39校の児童53,710名、教員1,410名。
	(3) 子どもの学校外教育活動 子ども図書館は年間に243日開館し、利用者数はのべ49,965人（1日あたり206人）で、女子の割合は50%だった。不就学児童のための特別教室については、特別教室はナンガハル州の公立校の教育課程に合わせ、9か月間（9月～翌年6月まで）行い、登録児童	ジャララバード市内の児童206名。

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2013年5月20日

報告書名：平成23年度 ジャパン・プラットフォーム 事業終了報告書

	50名全員が修了した。修了者の親に就学促進を働きかけ、50名全員が公立小学校に編入した。	
成果	<p>対象地域はカブール州およびナンガハル州である。成果1の校舎建設・備品供与活動は、カブール州、成果2の図書室改善活動は、カブール州及びナンガハル州の39の小学校ならびに5の公共図書館、③子どもの学校外教育活動は、ナンガハル州ジャララバード市が対象地域であった。</p> <p>事業目的である児童の学習環境の改善の指標は、就学者数、進級率の変化であった。就学者数については、学校建設と図書室改善活動の両活動を実施した2校において、就学者数が事業前の4164名から4498名へと334名、8%増加した。進級率については、学校側のデータ不足のため、正確なデータが収集できなかった。</p> <p>成果2である図書室改善活動による事業目的への貢献度について測定するために、図書活動が盛んにおこなわれている2校の2012年における6年生児童81名をランダムに抽出し、これらの児童の事業開始前の2011年のパシュトゥー語の進級試験スコアの偏差値と事業開始後の2012年の同スコアの偏差値の差を従属変数とし、2013年2月の1週間の図書室の利用度あるいは図書貸出回数を独立変数として、単回帰分析を行った。その結果、他の要因を制御した上で、児童が図書室を週に1度多く利用すると児童の終了試験の偏差値が1点上がり、児童が図書を週に1冊多く借りると、児童の終了試験の偏差値が1.3点上がる事が1%の有意水準で証明された。したがって、図書活動は、教育の質を改善していると考えられる。</p>	
課題と教訓、提言	<ul style="list-style-type: none">・カブール州の厳寒期が3月まで続いたため、当初3月上旬に工事を開始する予定であったが、4月にずれ込んでしまった。したがって、建設工事は12月に完了し、竣工式は行ったものの、すでに終了試験に入っていたため、校舎維持管理ワークショップの実施ならびに文具・教具の配布は2013年3月下旬の新年度開始後に実施した。・カブールの教育局をパートナーすることが初めてであったため、関係構築に時間がかかった。・児童用机いすの配布数について、教育局側とSVA側の理解に齟齬があった。そのため、2校のうち1校について、80組の机いすの追加供与を行った。・建設完了後、教育局よりライトの仕様について問題点を指摘され、交換することとなった。塗装の不備についても指摘を受けたため、6月頃に塗り直すこととなった。・図書活動は定着してはいるものの、改善の余地がある。一部の公共図書館について、治安悪化のためモニタリングができない時期があった。公共図書館のうち2館の2名が、公務員適性試験にパスできなかったため、6月に離職し、その後の着任まで数か月を要した。	